

久保埜 南さん

JTU強化記録会 応援レポート

2016年11月28 日(月)

国立スポーツ科学センター・ナショナルトレーニングセンター

ワールドカップ等への派遣選手を決める記録会。
評価基準タイムの突破を目指す

今回のトライアスロン連合(JTU)が主催する強化記録会は、スイム800mとラン5000mの合計タイムが評価

基準におさまった選手を、ワールドカップなどへの派遣対象とするというもの。挑戦を許されたのは次世代を担

う男女15名の選手だ。久保埜さんの応援に、東京都北区の国立スポーツ科学センターに向かった。

、呼ばれてスタート位置に移動する久保埜さん。記録を目指して、新しい水着を購入したそう



小走りでないと並走できないスピードで泳ぐ久保埜さん。多くのオリンピック選手が記録に挑戦してきたスポーツ科学センターのプール、ここで泳げるのも一流アスリートの証

まずスイム。ペースを乱さず自己ベストを記録！

スイムの記録開始は11時。アップを終えた久保埜さんが水着を着替えて3組目に登場した。笛が鳴って、弾かれたように水中へ。ぐんぐんと水を掴むように泳いでいく。久保埜さんのコーチから、

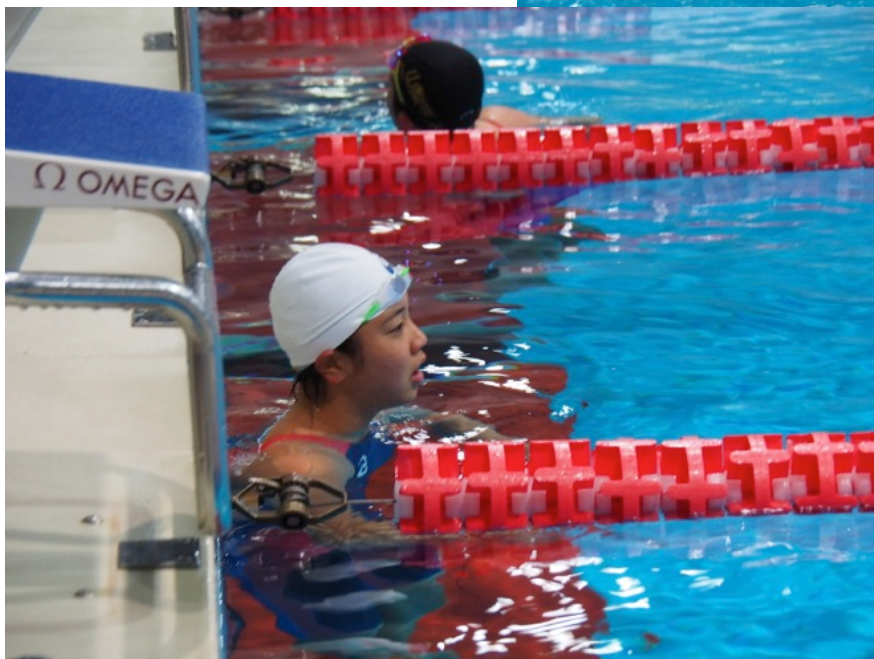
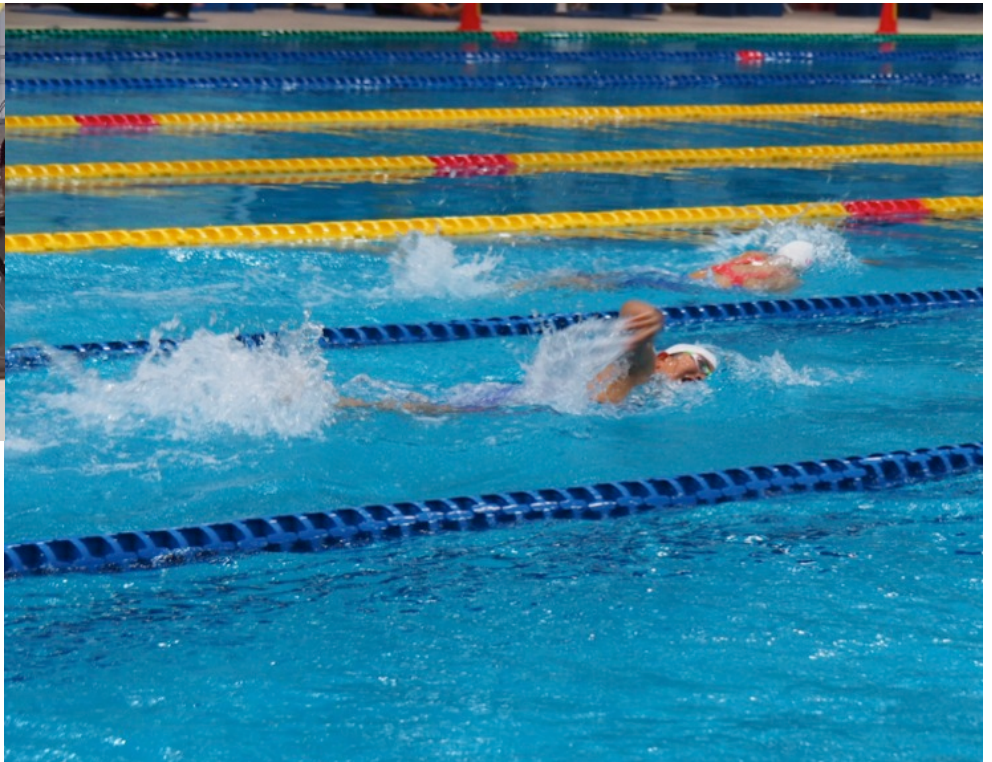
「隣で泳ぐ選手は久保埜よりスイムが得意で速い」と聞いていたが、久保埜さんはさほど離されることもなく、終盤までペースをまったく崩さない。すごいスタミナ！

そしてゴールして大きく息

を吐く久保埜さん。タイムは9:22.97。その場ではわからなかったが「新記録でした」と後からコーチに教えていただいた。スイムで自己目標タイムを出した久保埜さんは、安堵した表情だった。



実際のレースではスイムは海。今回初めて、久保埜さんの泳ぐ姿を間近で応援できた



泳ぎ終わってひと安心する久保埜さん

ランは悔しい失速。「次回の記録会で再挑戦します」

2時間の休憩があり、男子選手の後には女子選手のラン記録会がスタートした。久保埜さんは抜け出した2人を追う集団の中において、400mト

ラックを周回していく。しかし、距離を重ねるにつれ少しずつ久保埜さんが遅れて行く…。懸命に走るその表情はまったくレースを諦めてい

ないのだが、ゴール地点では最下位になってしまった。

記録は18:25.76、スイムと合計して27:48.73。評価基準タイム27:32.00に届かなかった。「スイムで時間が稼げたので、余裕をもって走る予定でしたが、ランは前半から力んでしまって失速してしまいました」と悔しそうな久保埜さん。でも、こういう経験を久保埜さんは糧として強くなってきた。次の挑戦も応援しています！



コーチより「秋に連戦が続き、疲れがあった」とのこと

年明けのワールドカップは間に合いませんが、2月にもう一度記録会があるので、絶対走り切ります。北海道の実家に今から帰りますが、悔しいので家のトレッドミルで走り込みます！

